

じょうはん

情勢判断学会 東京本部
 会員向けニュースレター
 発行人 古川 彰久
 事務局 〒105-0011 東京都港区
 芝公園2-6-11 芝公園ビル 9F 1001
 (有)イキキライフ内
 Tel. 03 - 3432 - 0584
 Fax. 03 - 3432 - 0582
 http://www.jouhan.com
 E-mail: info@iki2life.com

7月例会ご案内

日時 : 7月10日 水曜日
 18:30 ~ 21:00
 テーマ : 「城野宏先生と私」
 場所 : 港区立商工会館
 参加費 : 1000円
 担当 : 知野 進一郎 (愛知県長久手市在住)
 城野 宏先生と私

昨年、平成24年の8月。城野 宏?、城野 宏?、城野 宏?、どこかで聞いたことがある。書籍『社員がワクワクして仕事をする仕組み』東川 鷹年著、日本経営合理化協会発行の340 - 341Pで城野宏先生と(株)脳力開発センターと出逢った。似たような会社名があり、じょうはんのHPに辿り着くまで1か月間無駄な時間を過ごしたが、じょうはんのHPで城野先生と再会した。古川さんを経由したりアマゾンから、城野先生の書籍を20数冊とDVD『東西古今 人間学』を入手した。DVDは生前の城野先生の迫力ある姿と説得力ある声に触れることができた。約10時間かかるが6回連続で視聴し、今も時々視聴し城野先生から勇気をいただいている。

実は、小生は昭和50年代に岐阜市の高井法博会計事務所で城野先生の講演を聞いていた。高井先生によると「岐阜商工会議所での10名程度の参加の城野先生の講演で、高井先生が質問をするしメモもすぐとられている、こんな人はいない。今度、私のところへ来なさいと言われて東京へ行ったとのこと。また、利江夫人から再出版した数冊の本を送ってこられたとのこと。利江夫人は宝ジェンヌとのこと」。この時は將軍の10か条が記憶にある。

戦略は大胆に、戦術は細心に

戦略は大胆にと書きましたが、実は戦略というのは大胆にやるよりほかないのです。先ほどのように相手の状況をつかむ作業は、細心に詳しくやらなければなりません。しかしそれは戦略決定ではなく、戦略決定のための材料集めです。これは戦術なのです。細心に集めた材料をもとに決心する段になったら、二つに一つ、どららかです。戦うか、降参するか、細心になんかやっていますか? 全面的な材料を見て「これは勝てる可能性がある」とみたら「よし、やろう!」と決心するか、「やめた!」と決めるか、二つに一つですから、大胆にならざるを得ません。その後それをどのように達成していくかは戦術の問題なのです。

戦術というのは、戦略にしたがって立てられる。戦略に外れた戦術はまったく無意味です。戦略にあった戦術は断固やるべきです。

戦術は、細心に作っていかねばなりません。細か

く組み立てていくためには、人間の心理測定、つまり人間の心の動きをつかまねばなりません。自分勝手に思いつきを押しつけてもうまくいきません。なぜなら戦術は、相手が動かなければ成り立ちません。ですから、心をこちらの方向に持ってくるように心の測定が必要です。人の心の動きがわからなければ戦術は立ちません。

人の心をつかむためには、人心の普遍性を考えるべきです。人の心は何を好み、何を嫌がるか。しかしわずかのパ - セントの特殊性も無視してはいけません。特殊性を普遍性として処置していくと、必ず失敗します。

三国志の人間学 致知出版社 昭和59年9月初版 より抜粋。

戦略と戦術はコンサルタントでも考え方が異なる。城野先生の考え方はシンプルで小生には合った。簡単に言うと、今の妻に逢うまでは、好きな女性がいると「ラブレター - を出して、開封しないで戻ってきたらどうしよう」とか「コンサ - トや映画に誘って断られたどうしよう」・・・と戦術レベルで考えていたのだ。妻と初対面時に「理想の女性です」と告白し翌日から彼女に毎日電話をしていた。初対面から1か月経たない内にプロポ - ズをして受けてもらった。理想の女性像を描いていたから瞬時に「理想の女性です」と自信を持った一言であった。今から考えると・・・。

「戦術レベルでやるかやらないかを考えて判断できない」は日常茶飯事だ。あれは、どうするのかな。やるかやらないかの決断を会議でやっても、〇〇したらダメだとか、なら成功しそうだが確信は持てない・・・。反面、どんな業種でも世間や業界では常識であることを、壮大な願望や夢を持って明確な目標設定をされて実行する優秀なり - ダ - がいる。城野先生の著書に『人類に食糧危機はない - 脳力開発と農業』がある。DVDでもお話をされているが世界の食糧危機は解決するとお話をされている。城野先生が亡くなられて30年近く経ちます。日本のみならず世界の課題は城野先生の教えで解決できると思います。

城野利江夫人の執念

DVD『東西古今 人間学』には「この度、東西古今人間学をDVDにして主人の最後の声、姿を皆様のお手許におとどけ出来ます事、幸せに存しております。平成二十三年四月 城野利江」と何冊かの書籍も同様だ。利江夫人の宏先生を思われる執念を感じ涙がこぼれる。

お墓

長崎市寺町1 - 1 皓台寺で本院の裏手の崖の上の一番前だそうです。7 - 8月に城野先生の墓前に感謝でお参りする予定です。皆様も九州に行くことがあったら墓前にご挨拶をしていただければ幸いです。

8月31日(土曜日)城野宏先生の生誕100歳。

5月例会報告

日時 : 5月8日 水曜日
18:30 ~ 21:00
テーマ : 「いのちの喜ぶ」生き方
病という負の財産を得て
場所 : 港区立商工会館
担当 : かとう みちこ

発病 : なぜ病になったのか？

誕生の瞬間から始まった。兄と2人の姉、そして私、家族の誰もが男子の誕生を望んでいた。家族の期待に応えようと、せいっぱいボーイッシュな少女時代を送る。

だが初潮を迎えて体、全体がふっくらと丸みをおびてくることに嫌悪しダイエットにはしる。家族の期待に応えられなかったことで自分を責めるようになる。

この頃、兄夫婦に待望の長男が誕生した。両親は大喜びし家族の関心は長男にそそがれる。一人とり残されたような孤独、ますます心身のバランスを崩していく。極度のストレスを食べることで癒そうと過食に走る。下剤を飲んで食べては吐く、食べては吐くの極度の「過食症」となってゆく。数年が経った頃、いっさいの食べ物を受けつけなくなり極度の「拒食症」となる。20才の時、体重 22Kg と衰弱、大量輸血と大量ステロイドで命はとりとめたが「薬害」で苦しむこととなる。

血清肝炎、腎不全、^{ダイタイコツコツウエシ}大腿骨骨頭壊死。

爪、歯、髪を失う。失って失ってやっといのちの真実を知る。

やっと父母の愛に気づく

母が私を産みさえしなければこんなことにならなかったのに-----と母を責めることになる。

農家の嫁として忙しい中、毎日病院に駆けつける母に悪たれ悲しい反抗をしてしまう。本当は、苦しいよ---辛いよ---と言って泣き叫びたいのに素直になれず、絶望を母にぶつけてしまう。毎日死にたいと生きてきた。

絶望の中で母の愛を知る。

21才の誕生日のその日、その日も母に暴力を振り、暴れる。強い精神安定剤を注射され眠る。目が覚めると母の走り書きのような手紙があった。

---みっちゃんお誕生日おめでとう。今のみっちゃんはお母さんにとって悪い子かもしれませんが、それはみんな病気がそうさせているのですよね。ほんとうのみっちゃんは優しくみんなに好かれるいい子ですよね。最後にみっちゃんをこんな体に産んでしまったお母さんを許してくださいね。明日、またまいります。愛する娘みちこ様へ----

母より

この手紙を見て何年も泣けずにいたのに素直に大泣きした。

そして母への詩をつづった。

「誕生日」

かあさん

今日は大変だったのね

私をこの世に産むために

かあさん十ヶ月も重たかったのね

かあさんの血や骨をもらって

かあさんの爪や髪をもらって

わたしはこの世に産まれたのね

かあさんわたしのかあさん

今日はほんとうに

ありがとう

姉の死

2学年上の姉、嫁ぎ先で手遅れの胃ガンになり3人の幼児を残しこの世を去る。両親の悲しむ姿を目にしこの老いた両親の為に生きようと決心する。お父さん娘だった姉、父の悲しむ姿を目の前にし父を慰めようと一緒にお風呂に入る。この時老いた背中をみてショックを受け、私は絶対に元気になって見せると決心を強くする。

「とうさん」

とうさん

メガネの奥の

慈愛にあふれる眼差しは

どんなお叱りより

ズシンと胸にひびきます。

哀歎のタイムマシンは

はだか同士の親子です

こんなに白く薄くさせてしまった髪

こんなに小さくさせてしまった背中

とうさんこのわたしを叱って下さい

わたしたちのとうさんよ

詩人の^{ソウブシキ}宗武志先生との出逢い

詩人の宗武志先生（北原白秋の実御弟子さん）との出会い。

かたくなになっていた私の心をすこしづつほいで下さった。

（そのお人柄に感化される）しあわせのかくしあじの詩が生まれる。

からいお塩は
おいしい おしるこのかくしあじ
からい くるしみ かなしみ
そして わかれ
みいんな しあわせのかくしあじ
ひとり ふたふり
ほら！
しあわせが とっても
おいしくなったでしょ……

この詩が評価され本に紹介され（後に詩集として本になる。学校図書選館の選定図書となり教科書5年生用の朗読本の中に採用される）このことで自信を取り戻す。希望の光がみえてくる。

絶望の中でひとすじの光

本の出版、そして二十四才の時の初恋。両親に反対され駆け落ちをする。3ヶ月の同棲生活と結婚式をあげて3ヶ月で終止符。6ヶ月のうちに結婚、離婚を経験。しかしこのことがきっかけで一人生活、自立を決意する。迷いながら傷つき傷つけながら道を求め人生を模索する。

城野先生との出逢い

先生の歩んでこられた人生に驚き、感動し、やっとめぐり逢えた師、数々の目から鱗、開眼する。

病はわずかの部分で90%は健康ということに気づく

健全（普遍性）が全体をしめ不健全（特殊性）は部分である

嘆きの人生かたのしみの人生か2者択一

使うエネルギーは同じである

人頼りの生活から脱却

人生をつくる主因は自分自身の心の中にある

悪条件は自分を成長させる好条件に変えることができる

主体的に行動をおこす

埼玉に脳力開発のタネをまく、15年にわたる

埼玉情判会の主催。たくさんの仲間との出逢いで楽しみ的人生が変わる

「素粒水」との出逢い（薬害の身体を水で洗う）
エッセイ本出版

H15年人工透析すれすれだったが、**体内水まで変えることができる超波動水**（世界八ヶ国特許）エネルギーを秘めた素粒水と出遭う。水は**記憶物質**である為、今までの浄水器では不完全である。

素粒水は今までの方法とはまったく違う**分解除去**してしまう。したがって水の安全だけでなく、**食の安全**、地球の安全に貢献できるすぐれもの。後半は素粒水の話で盛り上がりました。

まとめ

脳力開発、情勢判断学の学びの中から、すべては私の**思い込み**から始まった病、幸、不幸も自分の心が作り出すことを知る。すべてが**脳でつくられる感覚世界**、**記憶のつみかさね**、**概念がほんとうのことだと錯覚**していた。

人とのふれあい、出逢い、感じ方で人生は変わる。すべてが許されて生まれ、許されて生き、許されて還ってゆくのかもしれませんね。

ありがとうございました。

